

総則など	市民になすべきことの規範がない	市民住民の使い分け	本来的住民利益の実現のために 目的 定義
------	-----------------	-----------	----------------------------

自治の基本原則など			
住民すべからく一人の人間として尊重されること 他者を尊重すること（必要がある） 人間としての扱いをする（人権尊重） 市民同士助け合う心を持つ（思いやり） 他人の働きに感謝できる心 （あげ足ばかりとらないで）	思いやり 共助 思いやりの心を忘れない 偏見、差別撤廃のため他者との垣根を作らない	人権尊重	
人と人とのつながりが豊かである	いろいろな交流を盛んに行う（まちづくりのため）	男女・年齢国籍に関係のない交流を支援する体制(行政) または、市民も心がける必要がある	
市民参加の市政組織をつくる 行政と市民の協働 行政と市民の相互理解 お互い協働すること	参加の権利・責務		
全ての点で男女共生の認識が低い	男女平等の政策	男女平等社会参画条例を作る	男女共生

市民の権利など				
主権は市民にあること	生涯学習の保障制度 市民の権利・責務			
市内の事業所の意見の反映の場がない、少ない	事業者の権利・責務			
政策成立過程に市民が参画できている 市民的立場がよりよく反映されている	参加の権利・責務			
行政には情報共有が行きわたる工夫が足りない	情報公開→請求権	行政情報を知る権利		
次世代の育成が十分ではない 次世代育成に関して特化してでもやるべき事がやられていない 「地域で子どもを見守り育てる」という体制作り	「子どもの権利条約」の生きた都市 子ども一人ひとりが豊かに生きられる町	芸術文化への参加の保障	子育て支援をどうすべきか 芸術文化への参加権の保障	子どもの権利 文化権の保障 子ども（の権利）条例の作成
(その他、政策等において多数の意見あり)				

役割と責務（市民、市議会、議員、市長、職員）など

<p>市民は行政に頼りすぎる、責任も押し付ける ＝住民自治の低さ</p> <p>市民は権利意識は強いが責務、共助の意識は少ない</p> <p>市民の民主主義のルール、会議のし方が未熟</p>	<p>納税と監視</p> <p>より多くの市民がより多くの時間、公共的活動に参加している</p> <p>行政に対しての要求・要望は具体的に簡潔なことばで伝える（市民のあるべき姿）</p>	<p>自ら学び、考え、行動する</p> <p>市民がいつも市政に対して関心を持つ</p> <p>市民の市政に対する関心を更に高めること（必要がある）</p> <p>市民自らが自分の出来ることは行政などに頼らない意識</p> <p>市民は最低限行政に迷惑をかけない</p>	<p>市民の意識</p> <p>＝燃えること</p> <p>市民の権利・責務</p>			
<p>「まちづくり」に対する企業の理解度・認知度・参加度が浅い</p> <p>まちづくりに対する企業の理解・協力が浅い</p>	<p>経済経営上位でなく働く者の権利や生活を守る経営をする</p>	<p>働く者の権利を発揮する（表明）</p>	<p>未来に対して責任ある経営理念を持つ</p> <p>事業者の権利・責務</p>			
<p>議会のやり方 議会→（質問）→行政 行政→（応える）→議会のみ</p> <p>議会の市民への説明責任を果たしてもらいたい</p> <p>議会の様子、発言の報道が不十分 （イントラネットライブ、ビデオ放送）</p>	<p>民主的運営に努める</p> <p>討論・討議する議会</p> <p>行政の暴走をストップする機能</p> <p>市民の目線に立った議会</p> <p>議会の夜の開会をして身近なものとするべき</p> <p>議会の様子が中継され多くの人々が内容を共有している</p> <p>議会が市民に対して、フィードバックする（日常的に）方策を持っている</p>	<p>議会の内容を知る（傍聴、テレビなどで）</p> <p>委員会・議会の傍聴によつての監視</p>	<p>議会をおもしろく（わかりやすく）する</p> <p>議会傍聴の方法（よく参加できる）</p> <p>議会報告を正しく市民に伝える</p> <p>議会内容報道を工夫する（ビデオ化上映など）</p>	<p>議会条例の作成</p> <p>議会</p>		
<p>議会や議員の日々行動がよく分かりにくい</p> <p>幅広い世代に伝わるような情報提供をすること</p> <p>議会・行政には市民より上という意識がある</p> <p>議員のことば、平民のような話し方ではない</p>	<p>党利党略ではなく市民の目線に立った議会活動を</p> <p>市民の負託に応える活動</p> <p>議員は市民の代表である</p> <p>議員は市民の為に公人としての意識を持って働く</p>	<p>市民は責任を持って投票する</p> <p>しがらみに（自己判断）とられることなく議員は選ぶ</p> <p>他者の依頼に惑わされない</p> <p>議員へ声を届ける</p> <p>議員は自分の利益、得のために働いている人が多いように思われる</p>	<p>議会・議員の意識</p> <p>行政理解の為の教育的プログラムを作る</p> <p>公共性（パブリシティ）</p> <p>市民の目線に立った議会</p> <p>相対性の認識</p> <p>議会</p>			
<p>首長の発言、責任を持って</p>			<p>市長の役割と責務</p> <p>首長の責務</p>			
<p>行政・議会、自治体自身の自治が未熟</p> <p>市長、議会の対立ばかりが目立つ</p> <p>市民という目線が口実に見える</p>	<p>行政と市民は反目する間柄ではなく協働して築き上げていく姿勢が欲しい</p>			<p>行政職員の仕事の余裕を 勤務を正常に出来る、出来ないのではなくどうすれば出来るのかを考えて欲しい</p> <p>3行政区の連携・連帯感を強化する必要がある</p> <p>市民にもっと歩み寄る姿勢が必要である。</p> <p>行政の担当者、責任者の問題の対応策は市民側を向いていない</p>	<p>行政の責務</p> <p>市区町村及び執行機関の基本的な役割・責務</p>	
<p>行政職員の地域での立場がうすい</p> <p>いろいろな立場や年齢の人の意見を聞いて欲しい</p>	<p>サービスの精神</p>	<p>地域活動に参加要請</p>			<p>職員は地域住民とコミュニケーションをとる</p> <p>地域活動に参加する</p> <p>公務員としての責務を果たす</p> <p>市の行事は一通り誰も知っていてほしい</p> <p>市職員は常に市民の目線でいて欲しい</p> <p>職員全員が共通の意識を持つ→勤務について</p> <p>行政の職員は制度・法律に勉強不足</p> <p>個人差がない様にして欲しい</p> <p>各区の職員が情報を共有する（南相馬市として情報が共有されていない）</p>	<p>行政職員の姿勢</p> <p>コミュニティの構成員として主体性を持つ</p> <p>職員の責務・育成</p>

参加・協働の推進など

「まちづくり」に対する広い情報の提供をする必要がある（少なすぎ）
 情報共有を多くの市民がするにはどうすべきか

情報共有の方策 具体⇔IT（相互的、全面的）

市政に関する情報を十分に知らせること
 情報の公開（要求されてからでなく）
 リアルタイムな情報伝達を行う
 情報共有がより確実にできるようさまざまな工夫を図る
 市民各位に対する発信（学習センターのサイト公報、携帯、パソコン等、リアルタイムの）
 転入者にも親切な・ためになる情報提供をして欲しい（困っている友人知人数人いました）

情報提供（そのあり方）
 伝達方法の工夫
 情報公開・情報共有
 情報公開・共有
 情報共有の実現
 情報の共有と理解
 個人情報の適正な運用指針を示す
 情報公開（情報共有のため）
 情報共有の原則と施策

市民参加を高めるにはどうすべきか
 住みやすい「まち」をつくっていくためには協働・住民参画が不可欠なのでそれを高めるためには何が

自発参加、自立的運営

市民活動（社会参加・貢献）を立ち上げる
 地域活動や組織活動などに自ら進んで協力する
 社会的活動に参加が少し不足
 NPO等の市民活動団体を活性化させる
 全ての会合に男女同数参加。少なくとも30%をめざせ

市民活動の奨励
 市民参加を助長する
 市民活動を支援する

参加・協働の推進

市民と行政との協働をスムーズにしてゆけるようにはどうすべきか
 行政と市民の協働が少ない
 行政は自主努力で 一方的に市民に丸投げするのは問題
 市民活動の支援、活動団体同士の交流を深める必要がある

行政はコーディネート（まとめる力がもっと必要だと思う）

自助努力だけでなく行政との協働をする

主権在民ではあるが、行政の姿勢としてソーシャルワーカー的政策立案が求められる

協同
 協働、市民参加
 コミュニケーション手段の研鑽
 協働の（実現）活性化
 協働、情報の共有
 行政と市民との相互理解
 参加・協働の推進

政策への市民参画を実現するにはどうすべきか

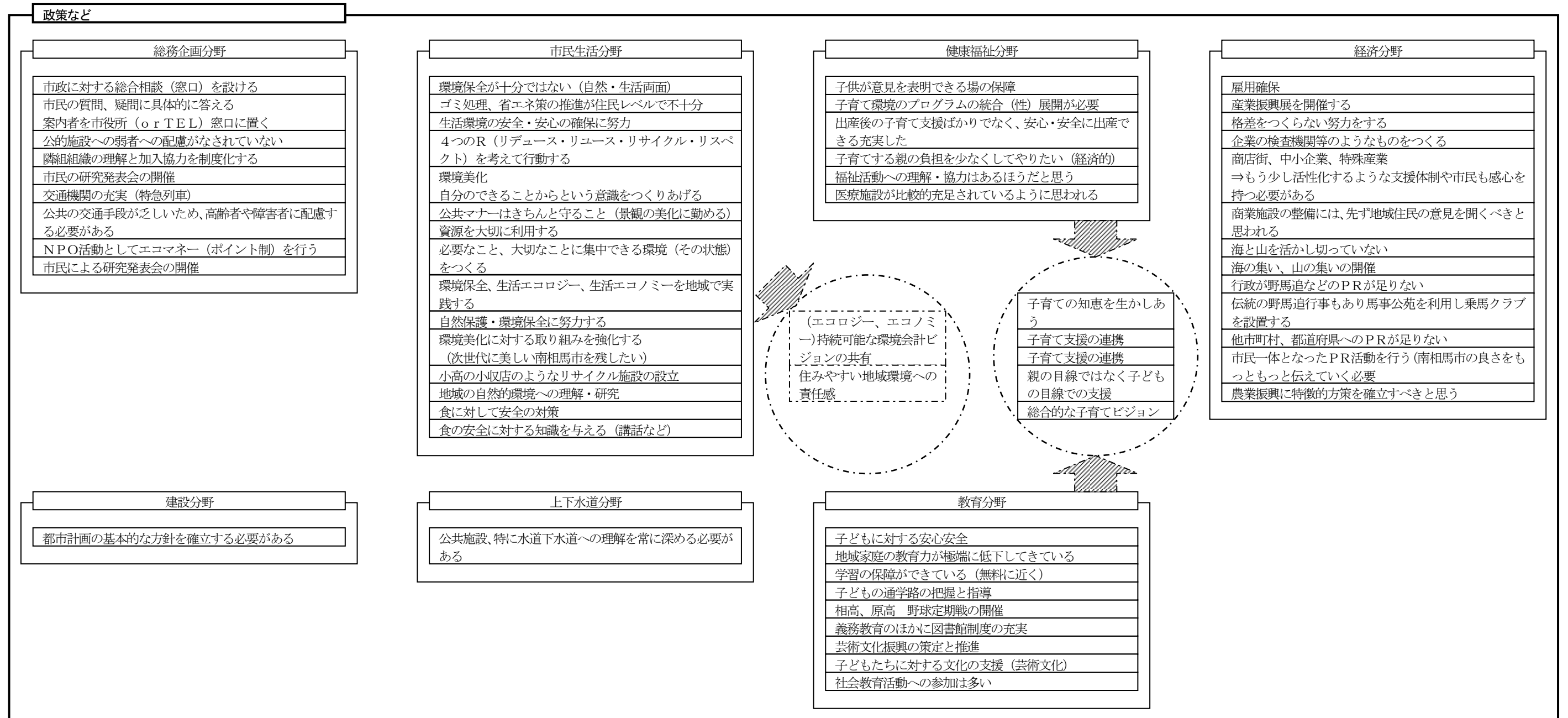
「行政が取り組むこと」として多種多様な「政策等」が意見として挙げられている（最終頁参照）

コミュニティの場、世代間の交流がない
 性別や年齢にとらわれない世代間交流が不足
 若者の連帯感がうすい
 各地区のリーダーが短期間故継続性に欠ける
 各地区でのリーダーの不足
 他人の子どもを注意できる環境になっていない
 地域活動への理解と協力

地域住民同士の活動の場を増やす
 コミュニティ間の場所の確保と人材育成
 恒例な行事の後継者育成、人材確保

隣組、コミュニティのあり方、再認識
 地域の助け合い
 人材育成
 地域コミュニティの充実
 地域機能回復「互助」
 コミュニティの意義と支援

行政の運営原則など			
<p>市としての特色がない</p> <p>「まちづくり」に対する行政のビジョンが不透明である</p> <p>政策に市民のニーズ・意見が反映されていない</p>			<p>「まちづくり」のビジョン</p> <p>総合計画に基づく行政運営</p>
	<p>情報共有と日常的フィードバックのために組織的機構を設ける</p>	<p>市役所の組織がたくさんあるため分かりにくい</p> <p>細かくくわいて市民に市民に伝える必要</p> <p>縦割りではなく横のつながりをもつ</p>	<p>執行機関の組織・執行体制</p>
		<p>行政はどのようなことに対しても迅速・丁寧・分かりやすい対応を心がける必要がある</p>	<p>住民要望への合理的対応</p> <p>意見・要望・苦情等への対応</p>
<p>行政の民活には問題がある</p>	<p>税の公平・透明な使い方</p> <p>行政は危機感を持って対応する</p>	<p>行政としてやるべきことはたとえ赤字でもやるべきことはやる</p>	<p>財政運営の基本事項</p>
		<p>行政側の政策立案の課題に市民（住民的）視点を常に踏まえる</p>	<p>意見の提出及び募集</p>
<p>常に防災を意識した組織づくりが必要と思う</p> <p>市民が安全・安心に暮らせない</p> <p>住民の掌握が出来ていない</p>	<p>危機管理の方式をしっかり作る（天災に対し）</p>	<p>危機管理の方式を具体的に策定する</p>	<p>安全・安心感</p> <p>日常生活の中で危機管理</p>
その他			
<p>条例施行の実効性を担保する為に見守り委員会を設ける</p>			<p>市民委員会の設置</p>



その他
明るく開かれた社会を目指す またはその取り組み
自分たちが恵まれていることに感謝する
笑顔のたえない楽しい生活を送れるように努める
幸せをより多く感じられる毎日を送ること
市民（職員含む）の毎日の生活にゆとりがない